

県労連 あおもり

2019年7月5日 第346号

発行所 青森県労働組合総連合(青森県労連)
〒030-0852 青森市大野若宮 165-19 Tel 017-762-6234
発行人 青森県労働組合総連合(毎月5日発行) 定価 10円
1992年10月30日 第三種郵便物認可
本紙の購読料は組合費に含まれています。

参院選32選挙区で野党統一 青森選挙区・小田切さとる候補!



参議院選挙が7月4日公示、21日投票で実施することになりました。今回の参議院選挙は、改憲、消費税10%増税、年金のマクロ経済スライド、アベノミクスなどが争点となつてい

ます。5月29日、立憲民主党・国民民主党・共産党・社民党・社会保障を立て直す国民会議の5野党・会派は、13項目からなる「共通政策」を確認して、参院1人区の32選挙区で野党統一候補擁立を決定しました。合意された13項目の主なもの、①安倍9条改憲反対②安保法制・共謀罪の廃止③辺野古新基地建設反対・普天間基地即時撤去④原発再稼働反対、原発ゼロ⑤高度プロフェッショナル制度廃止⑥最賃1500円をめざす⑦10月からの消費税引き上げ中止などです。

佐原わかさんも参加して、参院選挙勝利を参加者全員で確認しました。大竹進・市民連合あおもり共同代表は、小田切氏と中央の「共通政策」に県独自の①核兵器禁止条約の国会承認②戸別所得補償制の制度化、食料自給率の向上を加えて締結したいと提案しました。

消費税10% ストoppネット トワークあおもり もり結成

6月12日「消費税10%阻止ネットワークあおもり」結成の記者会見が県庁で開催されました。1989年国民の大反対を押し切って強行された消費税3%は、1997年5%、2014年8%と増税が強化されてきました。一方、法人税は、かつて43・3%だった税率が、2019年3月から23・2%と、20%も減税されている。中小企業の4分の3は赤字だといわれ、法人税は利益が出なければ払う必要がない。

生命・医療・火災・自動車・・・
全労連共済
労働組合の助け合い共済。
民間保険と違い、営利目的ではない。
だから、「小さな掛金」で「大きな保障」が実現。
問い合わせは県労連に ☎ 017-762-6234

労働法制連 絡会総会

労働法制改悪反対青森県連絡会は、6月22日(土)に2019年度総会を開催し、会員20人が参加しました。総会に先立ち、全労連の伊藤圭一雇用労働法制局長が「安倍働き方改革NO! デイリースペクトワークのための職場ルールと法制度改正を!」と題して、記念講演を行いました。昨年6月に成立した「働き方改革関連法」への対応として、①三六協定の活用で長時間労働を許さない取り組み



講演する伊藤常幹

「雇用類似の働き方」に関する検討会を重ねており、まともに入る段階にきています。解雇の金銭解決制度については、「解雇無効時の金銭救済制度」とし、①裁判・労働審判における「地位確認」訴訟は残す、②労働者に解雇無効時の労働契約解消請求権を認める、③使用者からの申し立ては認めない、となつていますが、お金を払えば解雇できることに変わりはありません。これらの政府・財界の攻撃を打ち破り、安心して働くルールを確立するため、奮闘することを確認して閉会しました。

消費税が始まった1989年から2018年度までの消費税累計額372兆円、法人三税(法人税・法人住民税・法人事業税)減税累計額291兆円、じつに消費税累計額の78・2%が法人税減税に使われています。「社会保障の充実」のためとして導入された消費税は、医療費の窓口負担がゼロだったサラリーマンの負担は3割負担、70



記者会見する呼びかけ人

空には無数の星がある。その中でも輝きの強い一等星、二等星、太陽系の惑星、太陽、月を観測し、船の位置を決定することができると。その毎日の星の位置を知らせる天測歴が発行を止め、電子データでその詳細を取得する方法に変更になった。日本の漁業を知るために、毎年発行されていた「水産年鑑」もデジタル化した。デジタル化だけでなく、当たり前だと思っていたことが、次々に当たり前でなくなりつつある。人間の男女の性差理解も、今までの常識とは違う形で認められるようになってきている。子どもたちの常識と大人の常識、同じ大人でも年配と若い大人の間にギャップが生じてきている。これからの時代に生きていくためには、これらの変化に敏感になり、柔軟に対応しなければならぬ。そして、自分の価値観だけでなく、様々な人・地域や国の価値観を認め、それを尊重しなければならぬ。労働組合もそうだろう。過去にあった形や運動方法をそのまま継承して、これからの労働組合が活性化できるのだろうか。意図的に変化を起さず、様々な観点からのイノベーションをしていかなければならないのではないか。人類そのものが、空の無数の星のように輝ける可能性を持った生命体なのだから。(多夢)

憲法の上に 日米地位協定?

6月22日、青森県平和委員会は米軍の特権を認めた日米地位協定の見直しを求めた学習会を開催、各地から27名が参加しました。講師は、県平和委員会代表委員の中屋敷泰一氏で、1時間間にわたって協定の問題点を指摘しました。

中屋敷氏は、夜間飛行訓練による騒音、無通告の低空飛行訓練、治外法権の容認、航空法適用除外、航空権の喪失、思いやり予算などについて解説しました。さらに「受刑者のステーキやデザートつき食事」「在日米軍の有料道路の日本負担」「F16の低空飛行による比内地鶏の300羽圧死」「米軍犯罪の8割超の不起訴」などの具体的事例を挙げ、日米地位協定の見直しの緊急性を強調しました。

講演する中屋敷代表委員



た。

故翁長沖繩知事が提唱し全国知事会で採択された「米軍基地負担に関する提言」が反響を呼び、「日米地位協定見直し」の意見書採択運動が展開され、124自治体で採択されています(青森県では大間町と風間浦村が採択)。平和委員会は全自治体を対象に取り組みことにしています。

自然エネルギー への転換を

6月15日、核燃料サイクル施設立地反対連絡会議の総会が開催され、各地から83名が参加しました。

総会に先立ち、共産党の衆院議員で原発・自然エネルギー対策委員会責任者の藤野保史氏が「矛盾に直面する日本の原発政策―原発ゼロに踏み出すとき」と題して講演しました。

安倍政権が進めてきた原発輸出は、ベトナム・台湾・トルコ・イギリスなど8カ国から拒否され頓挫しました。いまや「原発ビジネスは成り立たない」のが世界の流れとなっていると指摘しました。高速増殖炉「もん

自衛隊の 軍事パレード

陸上自衛隊第9師団は、

6月8日に青森市の新町商店街で、創立57周年記念行事の一つとして市中パレードが行われ、翌日の9日には第9師団青森駐屯地の基地の横断幕、「守ろう9条」と書いたプラカードや9条うちわを掲げて反対を意思表示しました。

また、野党が共同提案した「原発ゼロ基本法」を早期に国会で審議し成立させることの重要性を訴えました。

総会では、7月14日の大間原発反対現地集会のとりくみなど提案された議案を採択、最後に「原発ゼロ基本法案を早期に成立させ、原発・核燃料サイクルからの撤退、自然エネルギーへの転換」を訴えるアピールを採択して終了しました。

会場一杯の藤野講演



地開放行事が行われます。

この市中パレードに対して憲法ネット青森と青森県平和委員会は、「この道はいつか来た道、戦争の道」と、安倍政権の戦争につながる軍事パレードに反対する行動を呼びかけ、8人が参加しました。「9条改憲をやめさせて自衛隊員のいのちを守ろう」の横断幕、「守ろう9条」と書いたプラカードや9条うちわを掲げて反対を意思表示しました。

自衛隊によるパレードが始まると、沿道に詰めかけた市民は、配られた日の丸の旗を振り、一斉に拍手と歓声を上げました。この日の行進には300人の自衛隊員が参加、最初に青森駐屯地の隊員によるねぶた囃子の演奏で踊りながら行進、また秋田駐屯地は地元

の「なまはげ」の姿で現れ、岩手駐屯地の行進は「さんさ踊り」で行進するなど、軍事パレードを祭り

抗議するメンバー



のようにみせる企画が今回初めて行われました。また

これまでなかった弘前駐屯地のバイクによる行進、岩手から来たと思われる大きな105ミリりゅう弾砲2機がトラックにけん引され、合わせて戦車や装甲車など100輦近くが行進、最後に6機のヘリが商店街の上空を、編隊飛行で終了しました。

今年には自衛隊が市民に親しまれるような企画で、「市民の国防意識の向上」として自衛隊を浸透させようとの狙いが強く感じられました。

これからの予定

●大間原発反対現地集会
とき 7月14日(日) 11時半
ところ 大間町原発隣接地
青森市・弘前市・五所川市からバスを用意していますのでご利用ください。

第344回 まちがいがし



ハガキかFAXかメールで回答。氏名、住所、組合名を書いてください。余白に職場の様子や最近の出来事などを、およそく

ださい。正解者の中から抽選で図書券をプレゼントします。
●締切 8月15日
●発表 9月号
●宛先 030-0852
青森市大野字若宮165-19。FAX、メールは欄外に表記。第344回まちがいがし



した。当選者は次の方々です。
下山智裕(弘大職組)、北国翔子(年金者組合)、鎌田文字(年金者組合)、葛巻千津子(サンヨー労組)、神孝則(全労働)



100年安心の年金

なんて、最初から誰も信じちゃいない。だけど、毎日の生活でいっぱいはいっぱいなのに、2000万円準備しろって!国民をバカにするのもいいかげんにして!

働き方改革

(鎌田文字・年金者組合)
掛け声はいいけど、実情はほど遠いですね。(神孝則・全労働)

退職者の会で

「むつ市のお宝」見学。収蔵庫の中にお宝が整理されてぎっしり。これが公開されるのはいつ?。「歴史資

がし」係りまで。
第342回の答えと当選者
《答え》①吹き流しの尻尾の数②真鯉の背びれ③下の鯉尾びれ④右の男の帽子⑤中央の女の子の髪⑥皿の餅の数⑦左の女の帽子のリボン

《当選者》12通の応募でした。当選者は次の方々です。
下山智裕(弘大職組)、北国翔子(年金者組合)、鎌田文字(年金者組合)、葛巻千津子(サンヨー労組)、神孝則(全労働)

定年退職して6年

料館よ、君がいつ建つのだ。昼食あり、歌あり。続いて「私の見た、体験した昭和」を4月く6月生まれの8人が発表。昭和に育った私は、家族・地域・交流する人たちによって育まれたことに気付く。それが平成を生きる私の礎になっていたことを知らされた。(都合孝子・年金者組合)

不特定多数が集まる

ある休憩所に、母が財布を置き忘れたが、その日の内に連絡がきた(85歳になる母は気づかずいた)。そばの店の人が案内所に届けてくれたとのこと。若い頃、自分も東京で大事な物を置き忘れたが、戻ってきたことを思い出した。そう

いつもの待合室

のおばあちゃん、偶然「メーデーを見た」そう、団結ガンパローを見て「吉良上野介の首は今安倍だ」と感じたそう。(細川弘彦・年金者組合)